

群馬県立富岡実業高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

羅 針		盤	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科コースの専門教育に 生徒の85%以上が満足している。	A	A	A	座学・実験・実習等のさらなる授業改善に取り組み、生徒93%の高い評価であった。 参加率は昨年度より増加してきている。評価は85%でコロナ禍が収まれば上がると思われる。 学習指導や各種行事の充実・工夫に取り組み、94%の評価を得ており、行事の満足度は①の81%から②の94%に上がっている。	今後とも地域の小中学校や関係機関との連携を積極的に実施してもらいたい。地域のイベントや交流活動に多くの生徒が参加をしてくれている。地元からの評判も良いと思われるので、富実生の活躍を期待している。 コロナ禍であったが文化祭や修学旅行など工夫をして学校行事を開催できることは、大きな成果となっている。	産業社会の変化を見据えて1年生の学科選択に係るガイダンス及び各学科の専門教育等と先端技術体験を継続的に充実させる。 自ら興味をもち参加できる姿勢はできたので各種活動を再稼働に向けて活発化させる。 学習指導と資格指導及び様々な行事等について生徒が達成感をもてるような工夫や富実ならではの魅力化を図る。
		②地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する 生徒が80%以上である。	A	B	A			
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④「授業がわかりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	A	A	A	90%以上の生徒・保護者が本校の授業に満足している。しかし、学力定着に課題のある生徒や成績不振者への指導が十分でないと感じている教員が一定数いる。 現状での指導には生徒・保護者ともに十分満足している。しかし、より上位の資格に挑戦しようとする意識の育成には至っていない。 90%以上の生徒が意欲的だと自己評価しているが、教員の評価は約70%と大きな開きがある。 80%の生徒が自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価しているが、教員の評価は60%と大きな開きがある。 生徒の情報交換を職員会議や学年会議において実施することが定着してきている。生徒の状況把握と情報の共有を図り、組織的な指導に繋げ、職員全体で様々な問題の未然防止に努める。 人の嫌がることをしないよう意識している生徒が98%となった。いじめ問題の未然防止を心がけ、生徒主体のいじめ防止活動やいじめ防止についての指導を継続していく。 欠席率は1.7%、遅刻率は0.6%となった。コロナ禍であることが影響していると考えられる。個に応じた対応をきめ細やかにやる。 生活習慣の確立を目指し、家庭と連携していく。スマートフォンの利用方法を定期的に考えさせる。	生徒が意欲的に取り組んでいることにより学習面や部活動面で結果が出ていると思われる。先生方の取り組みも良好であると考えられる。 社会へ出るにあたり、たくさんの資格を持つことは重要である。 今後もさらなる資格取得に向けて指導の充実を図ってもらいたい。 キャリア教育の視点に立ち、実社会では、リスカルやリカレントなどが求められている。高校生に学び続ける価値について自覚を促してもらいたい。	「例年通り」の授業ではなく、授業改善を常に心がけるとともに、学力定着に課題のある生徒や成績不振者への指導方法や内容の改善を図る。 より上位の資格を目指せるように生徒を指導し、挑戦する態度を育成する。 朝学習の取り組み方や内容を再検討し、必要に応じて改善する。 生徒にはより高い目標を目指すよう指導し、何事にも挑戦する態度を育成する。
		⑤資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。	C	B	B			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	A	B	B			
		⑦自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、各学年70%以上である。	B	B	B			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧組織的な指導のため、生徒の情報交換を月に3回以上行っている。	A	A	A	SNSの危険性などの指導を繰り返す必要があると思われる。SNSの使用について啓発活動を継続して取り組むことで成果が上がると思われる。 コロナ禍であるが、遅刻・欠席率ともに低い状況を継続できるように指導に取り組んでもらいたい。 富岡市給食センターの栄養教諭と連携をして食育教育の充実を図っていくことを検討してもらいたい。 睡眠時間についてどのくらいの割合であるか調査し、健康面との関連を調べてみてはどうか。家庭での学習時間についても調査をしてみよう。	職員全体で様々な問題の未然防止に努めるために、さらに精度の高い情報交換を行う。組織的指導の重要性を職員全体で共有する。 生徒会が中心となり、生徒一人ひとりのいじめ防止活動へ参加している意識を高め、学校全体での取り組みにする。また、保護者にも見える形の活動を検討する。 それぞれの生徒に対して原因の究明から対応に繋げる。家庭や関係機関と連携を密にして粘り強く対応していく。 十分な睡眠を取っていない生徒が少なくないことを踏まえ、健康な生活に関する啓発や指導をより充実させる必要がある。	
		⑨いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止 活動に主体的に取り組む生徒が80%以上である。	A	A	A			
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑩欠席率が1.5%以下、遅刻率が0.5%以下である。	C	C			C
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。		⑪毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	A	A			A
			⑫進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	A	B			A
	IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬自己の適性を理解し、将来の職業との関連について考えている生徒が75%以上である。	A	A			A
⑭挨拶やコミュニケーションを進んで行い、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。			A	A	A			
⑮PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が、70%以上である。			A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯授業公開、学校からのメールや配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の80%以上が学校の様子を理解できている。	A	A	A	多くの保護者がPTA活動や学校行事に参加したが、保護者への連絡が行き届かないこともあった。今後は、保護者が参加できる行事が増えることも考えられるので、内容を充実させたい。 コロナ禍における情報発信が重要視される現状から、保護者宛のメールを必要に応じて配信した。また、部活動の大会結果や活動の様子、学校行事などを写真とともにホームページで例年以上に紹介した。	今後とも感染対策をした上で保護者参加の行事を増やしてほしい。 富実生と市内の小中学生との交流の場を広げ、お互いの情報発信や市の給食センターとの連携など農業や食を通じた活動でお互いの学びを深めたい。 保護者の方により多くの行事に参加できるように体制を整え、学校の様子が変わるようにしてもらいたい。	学習成果発表会や各種講演会を保護者にも開放し、保護者の関心が高まるような行事内容を検討する。また、メールやホームページを活用して、保護者に確実に情報提供を行えるようにする。 授業公開の回数を増やし、専門学科での実習の様子も保護者に見てもらおう。また、ホームページの情報は速やかに更新していく。
		⑰ICTを活用した授業に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑱ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	A	A	A	90%以上の生徒・保護者がICTを活用した授業に満足している。しかし、ICTを活用できる職員とそうではない職員との間で活用に関する温度差がある。 授業アンケートや学校評価などをICTを活用して実施し、webページやメールでの連絡も速やかに行った。	教職員の研修機会を設け、ICTの活用を積極的に推進してもらいたい。 市内小中学校のICT活用について高校の先生方がご覧いただき、義務教育段階での実態を把握し、高校での実践につなげてもらいたい。	ICTの活用に関する研修を充実させて授業改善を図り、簡単なことから始めることで教員間の温度差の解消を図る。 職員研修を通してICTの活用について理解を深め、業務改善につなげる。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑲ICTを活用した授業に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	A	A	A			